

学習指導要領における指導事項等

C 近現代の日本と世界

(1)近代の日本と世界

課題を追究したり、解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識を身に付けること。

(イ)明治維新と近代国家の形成

開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活に大きく変化したことを理解すること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア)工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の諸改革の目的などに着目して事象を相互に関連付けるなどして、アの(イ)について近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現すること。

(イ)近代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現すること。

I. 単元名

第5章 開国と近代日本の歩み 2節 欧米の進出と日本の開国

3節 明治維新 (1.新政府の成立 ～ 3.富国強兵と文明開化)

(P162～P175)東京書籍

2. 単元について

○単元観

本単元では、開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、日本が明治維新によって近代国家の基礎が整えられ、人々の生活が大きく変化したことを理解することがねらいである。具体的には、「開国したことで、日本は何が変化したのだろう」を単元課題とし、開国したことによる幕府の政治的及び社会的な影響を踏まえ、それが明治維新の動きを生み出したことに気付くことができるようにする。

開国とその影響では、幕府が対外政策を転換して開国したことと、その政治的及び社会的な影響を踏まえ、それが明治維新の動きを生み出したことに気付くことができるようにする。

富国強兵・殖産興業政策では、廃藩置県、学制・兵制・税制の改革、身分制度の廃止などを取り扱い、学制など今日につながる諸制度がつけられたことや、身分制度の廃止にも関わらず現実には差別が残ったことに気付くことができるようにする。

明治維新では、複雑な国際情勢の中で独立を保ち、近代国家を形成していった政府や人々の努力に気付くことができるようにするとともに、近世の政治や社会との違いに着目して、近世から近代への転換の様子に気付くことができるようにする。

文明開化の風潮では、欧米諸国から取り入れた制度や文化の影響で、社会の様子や人々の生活が大きく変化したことに気付くことができるようにする。

このように江戸幕府や明治政府の諸政策について捉え、江戸幕府による開国が日本にどのような影響を与えたのかについて政治面、経済面、文化面において多面的・多角的に考察し、開国前に様子と比較したり、関連付けたりし、追究することをねらいとする。加えて、開国後の幕末の様子と明治新政府樹立後の様子を比較させ、開国の影響がどのように表れたのか、またそれらが良い影響を与えるものとなったのかについて多面的・多角的に考察させることもねらいとする。

○生徒観

生徒情報のため、割愛します。

○指導観

本単元は、開国から明治維新までの日本の社会状況を踏まえ、「開国したことで日本は何が変化したのだろう」という単元課題について考えさせる。具体的には、生徒一人一人にどの視点で開国後の日本の様子を考えるのかを単元の予想の段階で、考えさせたい。加えて、視点別にカテゴライズすることで、単元を通して生徒が課題選択を行う複線型で学びを深める単元とし、生徒が互いに異なる視点を関連付けながら考えさせたい。

また本単元では、ロイロノートの共有ノートの機能を用いて生徒が互いに途中参照、他者参照を行うことができるクラウド型の授業を展開していきたい。同じ視点の生徒同士、異なる視点の生徒同士が互いに意見を比較し合い、関連付けながら思考を進めることで、深い学びに繋げていきたい。

3. 単元の目標

- ・開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解する。【知】
- ・明治維新による工業化の進展と政治や社会の変化などに着目し、近代社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する。【思】
- ・近代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。【主】

4. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解している。	明治維新による工業化の進展と政治や社会の変化などに着目し、近代社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	近代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

指導と評価の計画(時間)

学習目標(学習のねらい)		評価 (●:改善につなげる評価、○:評定に用いる評価)		
		知	思	主 評価規準(評価方法)
1	ペリー来航による、欧米諸国と結んだ外交関係を基に、「開国したことで日本は何が変化したのだろうか」の単元課題の予想を立てる。			● 近代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 (ロイロノートの提出物)
2	ペリー来航による、欧米諸国と結んだ外交関係を基に、江戸幕府がなぜ開国をしたのかを考察し、説明する。		●	ペリー来航による、欧米諸国と結んだ外交関係を基に、江戸幕府がなぜ開国をしたのかを考察し、説明している。 (ロイロノートの提出物)
3	江戸幕府が開国したことによる、日本への影響を基に、なぜ幕府への批判が高まったのかを考察し、説明する。		●	江戸幕府が開国したことによる、日本への影響を基に、なぜ幕府への批判が高まったのかを考察し、説明している。 (ロイロノートの提出物)
4	倒幕への動きや幕府の対応、外国の動きを基に、なぜ江戸幕府が滅亡したのかを考察し、説明する。		●	倒幕への動きや幕府の対応、外国の動きを基に、なぜ江戸幕府が滅亡したのかを考察し、説明している。 (ロイロノートの提出物)
5	江戸と明治の政治の在り方を比較し、新政府の方針や諸改革の内容、中央集権国家の体制が確立していったことを理解する。	○		江戸と明治の政治の在り方を比較し、新政府の方針や諸改革の内容、中央集権国家の体制が確立していったことを理解している。 (ロイロノートの提出物)
6 (本時)	明治維新による工業化の進展と政治や社会の変化などに着目し、近代社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する。		●	明治維新による工業化の進展と政治や社会の変化などに着目し、近代社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 (ロイロノートの提出物)
7	江戸幕府が開国したことによる、日本への影響を基に、日本は、開国するべきだったのかを考察し、説明する。	○	○	江戸幕府が開国したことによる、日本への影響を基に、日本は、開国するべきだったのかを考察し、説明している。 (ロイロノートの提出物)

5. 本時の指導(6/7時)

(1) 本時の目標

明治維新による工業化の進展と政治や社会の変化などに着目し、近代社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する。

(2) 本時の評価規準

明治維新による工業化の進展と政治や社会の変化などに着目し、近代社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。【思】

(3) 準備物

教科書(東京書籍)、電子黒板、ipad、Google chrome、接続アダプタ

(4) 本時の展開

		学習活動	指導上の留意点	評価規準 評価方法
導入(5分)	見通し	○前時の振り返り	・電子黒板に前時のまとめを表示し、振り返りをさせる。	
		○課題の提示	↓ ・前時の振り返りで江戸と明治における政治の在り方が変化していたことを振り返らせる。 ・本時の課題の()の中には、単元の始めに生徒がそれぞれ設定した視点を埋めさせる。	
		課題 明治維新は()にどのような影響を与えたのだろう。		

展開(35分)	解決活動	○課題に対する予想を立てる。 〈生徒の反応〉 ・平等な世の中になった。 ・貿易が活発になったことで外国の文化が入り、生活が変化した。 ・外国と対等な関係や外国より強くなろうとする考えが生まれた。 ○単元で定めた自身の視点で明治維新による影響を考える。 ○調べた視点が、どの程度の影響を与えたのかを共有ノートに可視化する。	・全員が予想を書けるように机間指導を行い、声を掛ける。また、全体共有を行い、全員が課題に対する予想ができた状態で展開に向かう。 ・自身が設定した課題の解決に向けて、教科書、資料集、動画、インターネット等を活用し、情報収集を行わせる。 ・ロイロノートの共有ノートを用いて、他者参照、途中参照させながら取り組ませる。 ↑視点ごとにカードの色を分け、生徒が一目で他の生徒が取り組んでいる視点が視覚的に分かりやすくなるようにする。 ・ロイロノートのシンキングツール(座標軸)を用いて調べた内容を分類分けさせる。 ↑調べた視点が良い影響・悪い影響どちらに当てはまるのかを先で調べた根拠と他者参照における他の生徒視点を踏まえて考えさせる。	
---------	------	---	--	--

終末(10分)	まとめ	○ノートに本時のまとめを記入する。	・机間指導を行い、まとめの内容に困っている生徒に個別に支援をする。	
	振り返り	○ノートに本時の振り返りを記入させる。 ○ノートを撮影し、ロイロノートに提出をする。	・分かったこと、疑問に思ったこと、分からなかったことの中から選択させ、記入させる。 ・撮影したノートをロイロノートのテキストに添付し、提出させる。 (テキストの色は、振り返りの分かったことは青、疑問に思ったことは黄色、分からなかったことは赤)	明治維新による工業化の進展と政治や社会の変化などに着目し、近代社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 (ロイロノートの提出物)

6. 板書計画

課題	PI70～PI75	個人学習	グループ学習	タブレット	個人学習	グループ学習	タブレット
明治維新は()にどのような影響を与えたのだろう。		Q. 明治維新による影響は？ 〈道具〉 ・タブレット・教科書 〈調べ方〉 ・個別・ペア・グループ・先生 〈視点〉 ・政治・経済・文化			Q. どれくらいの影響があった？ 強い ←————→ 弱い 影響 影響		
予想	・平等な世の中になった。 ・外国の文化が入り、生活が変化した。 ・外国の文化が入り、生活が便利・豊かになった。						
		まとめ 明治維新による三大改革や文明開化は日本の政治・経済・文化を大きく変化した。しかし、富国強兵・殖産興業など今後の戦争に繋がるようなものも表れた。					
		振り返り 明治維新は、日本の政治・経済・文化に大きな影響を与えたことが分かった。また、明治維新は外国から入ってきた物事が多く、開国したことによる影響も大きく受けていると思った。					